

編集後記

2008 年 4 月から本誌の編集委員の 1 人に加えていただいた。大役を拝命してまだ半年の新米の編集委員である。医師、あるいは医学者としての力量、経験、知識、どれをとってもすべて私よりも遥かに上をいく先輩編集委員の先生方の議論を心に留めながら編集委員会に参加している。研修医の時代に戻ったようで新鮮な経験である。

学術論文といえば、駆け出しの頃は先輩に叱咤激励されて嫌々論文を書いていた。雑誌に投稿すると査読者の先生から多くの指摘を受けて一つひとつを修正し、何度も同じようなやり取りを繰り返しながら投稿を続けた。論文を書くことは自他にとって何の意味があるのか、こんなことをいつまで続けるのか、と自問自答しながらの日々であった。しかし査読者の先生の指摘は、なかには意地悪なものもあったが、多くは励みになり何より論文作成上の貴重な示唆を与えてくれるものであった。自分の書いた論文が雑誌に掲載された時にはとても嬉しかった。そして医局の先輩と、雑誌の向こうにいる目に見えぬ査読者の先生の指導を何度も受けているうちにいつの間にか論文を書くことがおもしろくなった。さらに、研究報告をすることによって医学の進歩に自分なりの貢献ができるという意義を知ることになった。本誌「精神医学」は、臨床の研究者として筆者を育ててくれた貴重な雑誌の一つである。本誌の編集委員となった今、今までの恩返しをする意味でも、投稿論文の学問的な質を少しでも上げることができるよう微力ではあるが貢献したいと考えている。そして伝統ある本誌の質を今後も維持しさらに発展できるように努めていきたい。以上が本誌の編集委員に就任するにあたっての筆者の抱負である。

さて、本号では「展望」で大先輩の融先生にセロトニン受容体、特に 5-HT_{1A} 受容体アゴニストによる薬物療法について執筆していただいた。また私事になるが、融先生といえば私が医学生時代であった 1970 年代、神経伝達物質が注目を集め始めた時代であるが、私の母校に特別講演に来ていただいたことがあった。統合失調症のドーパミン仮説などの書物をわからないまでも読み漁っていた私は必死になって先生の講演に耳を傾けたことを思い出した。懐かしい若き日の思い出である。その他に掲載されている論文も薬物療法、疫学調査やリハビリテーションなど貴重な報告が目白押しである。引き続き今後も多くの投稿を期待するものである。

本号が刊行される頃は 2009 年の新年を迎えているはずである。寒さも厳しく、風邪やインフルエンザが流行る時期でもある。くれぐれもご自愛いただきたい。(M.H.)

■ 編集委員

飯森真喜雄

井上 新平

小島 卓也

小阪 憲司

松本 英夫

松岡 洋夫

三國 雅彦

(ABC 順)

精神医学 (第 51 巻 第 1 号)

2009 年 1 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2009 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 30,600 円・MedicalFinder パーソナルオプション付 39,800 円 (税込, 送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

〒 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) 丹水社 電話 (03) 3561-1323

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2009, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。

・ JCLS (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ (インターネット) は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。